

各位

杜の都信用金庫

2023年度決算状況（速報）について

杜の都信用金庫の2023年度決算状況についてお知らせいたします。

【1】収益面について

◇増収・増益となりました。

(%表示は対前期比増減率)

	経常収益		経常利益		業務純益		コア業務純益		最終当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月	5,677	3.2	868	56.5	1,377	31.4	1,468	9.0	620	45.0
2023年3月	5,500	△4.1	554	△34.8	1,048	△34.5	1,347	△9.4	427	△26.6

貸出金利息や有価証券利息配当金が増加したことにより、経常収益が増収となったほか、与信関係費用が減少したことにより増益となりました。

【2】業容面について

◇預金平残、貸出金平残ともに増加しました。

(%表示は対前期比増減率)

	預金				貸出金			
	平残		末残		平残		末残	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月	605,574	1.6	632,745	△1.5	352,248	6.9	372,502	5.7
2023年3月	596,011	4.3	642,575	4.4	329,229	2.0	352,088	5.0

預金は、懸賞付定期預金や定期積金などの企画商品がご好評をいただいたことなどから個人預金が増加した一方、法人預金が増加したことから末残は減少しましたが、平残は増加しました。

また、貸出金は、「もりしんプラットフォーム」の活用や資金繰り支援等、お客さまの資金ニーズに対する円滑な資金供給に努めてまいりましたことから、平残・末残ともに増加し、預金・貸出金総和1兆円を達成いたしました。

【3】健全性について

◇地域金融機関として十分な健全性を維持しています。

	自己資本比率		不良債権比率	
2024年3月末	10.25%	0.18ポイント上昇	2.68%	0.14ポイント上昇
2023年3月末	10.07%	0.06ポイント上昇	2.54%	0.07ポイント上昇

※不良債権比率は、金融再生法に基づき表記しております。

自己資本比率は、国内基準である4%を上回っており、経営の健全性、安全性を十分保っております。

杜の都信用金庫は、笑顔と感謝の気持ちを忘れずに、「もっとも相談しやすい地元のしんきん」として、地域やお客さまの課題解決に貢献できるよう努めてまいります。



もっともっと、「しんきん感」向上宣言!

杜の都信用金庫